桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第 2840 地区　2024-2025 年度　国際ロータリーのテーマ

２０２５年

THE MAGIC OF ROTARY

R.Ｉ会長 ステファニーＡ．アーチック

ロータリーの
マジック

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー　前　原　勝　樹

会長　園田　誠　幹事　丹羽あゆみ

クラブ会報・情報委員会　　新川桂子・小島麻紀緒・柳明彦・木村洋一・栗原大介

７月７日号

第３２９３回例会

（６月９日（月）第２例会）

1.　点　鐘
2.　ロータリーソング斉唱
3.　来訪者紹介
4.　出席100％表彰
5.　会長の時間
6.　幹事報告
7.　委員会報告
8.　卓　話「私の思う子どもの居場所」
　　桐生みどり子ども食堂ネットワーク
　　代表　山同　善子　様
9.　点　鐘

ようこそビジター

〈卓話者〉 桐生みどり子ども食堂ネットワーク　代表　山同　善子　様

出席100％表彰

大友　一之君１３回
水越　稔幸君１１回
飯塚　荘一君１０回
後藤　圭一君　７回
平岩千鶴子君　４回
松田　秀夫君　３回

会長の時間

先週は、6/5家族会旅行・6/8ゴルフコンペ、それぞれ無事に楽しい一日が過ごせました。参加者の皆さんお疲れ様でした。
本日、本年度の桐生倶楽部での最終となり、来週6/16 は、いよいよ最終例会を夜間にたつ吉様で行います。皆様、一年間お世話になり、ありがとうございました。

【報　告】
・6/2(月)　例会終了後、定例理事会
　桐生4RC 会長幹事会
　　午後 6 時 30 分　ラポルト
　会長、幹事、会長エレクト、副幹事
・6/3(火)　次年度家庭集会　正午　桐生倶楽部
　(S.A.A、クラブ管理運営室)
・6/5(木)　家族会旅行
・6/7(土)　米山学友会総会　劉　躍君
　森ガバナー、大友地区副幹事
・6/8(日)　ゴルフコンペ　伊香保国際ｶﾝﾂﾘｰｸﾗﾌﾞ 14 名

【予　定】
・6/ 9(月) 例会終了後、次年度家庭集会
　(公共イメージ室)(会員組織強化室)
・6/10(火) 桐生赤城 RC 御礼　森ガバナー、会長
・6/11(水) 次年度家庭集会　正午　桐生倶楽部
　(奉仕プロジェクト室、R財団・米山奨学室)
　桐生南 RC 御礼　森ガバナー、会長
・6/13(金) 桐生西 RC 御礼　森ガバナー、会長
・6/14(土) ガバナー諮問委員会
　足田 PG、森 G、後藤地区幹事、
　松島地区会計長、桑原、飯塚地区副幹事
　現新地区役員合同連絡会議・懇親会
　森 G、後藤地区幹事、松島地区会計長
　Randolph 留利子グローバル補助金委員長
　桑原、飯塚、須永、柳、澤田、久保田、
　松田、坪井、青木、大友、富澤、
　岩崎地区副幹事

【その他】
・6/16(月)最終例会　午後 6 時 30 分　たつ吉

幹事報告

・桐生西、桐生赤城の各RCより週報到着。
・例会終了後、定例理事会を開催致しますので、関係理事役員の方々は、ご出席よろしくお願い致します。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(令和7年6月9日)
総員71名：出席51名

☺ ニコニコボックス

園田誠君…先日の家族会旅行では、桐生西 RC 山同会長と娘さんには、大変お世話になりました。本日は、奥様の卓話でもお世話になります／園田誠君…家族会旅行、ゴルフコンペ無事に楽しく行うことが出来ました。ありがとうございました／園田誠君…家族会旅行のあと桑原ご夫妻には、大変お世話になり、ありがとうございました／須永博之君…先週のバス旅行を、観劇では大変お世話になりました／飯塚荘一君…山同さんをお迎えして／津久井真澄君…今年度群馬県総合表彰を受賞しました。ありがとうございました／本田雄一郎君、岩崎靖司君…結婚祝／水越稔幸君、飯塚荘一君、松田秀夫君、平岩千鶴子君…出席100%。

卓 話

「私の思う
子どもの居場所」

桐生みどり
子ども食堂ネットワーク

代表　山同　善子様

私は、みどり市で「とまり木」という子ども食堂を開いている山同と申します。
今日は私の思いと活動について少しお話させていただきます。
子ども食堂について言葉ではよく聞くけれど、内容についてはご存じない方が多いのではないでしょうか。
これからお話させていただきながら、みなさまの中にイメージできると嬉しいです。
NPO 法人全国子ども食堂支援センター「むすびえ」の 2023 年度調査結果によると子ども食堂の数は全国に 1 万か所(2024 年末時点で 10,866 か所)以上だそうです。都道府県別ではもっとも多いのは東京都(1010 件)、次いで大阪（757 件）、兵庫県(521 件)です。群馬県は 119 件となっています。ただし、子ども食堂は自治体等への届け出は必要ないので、実際にはもっとたくさん存在すると思いますし、調査以降も子ども食堂の数は増え続けています。
なぜ、世間でこんなに子ども食堂が増えているのでしょうか。もともと「子ども食堂」という名称は、東京都で八百屋の店主が貧困や親の多忙でご飯を満足に食べていない子どもが増加していることを知り、自分の経営する八百屋の一角に子どもたちが食事をできるスペースを設置したことがきっかけとなっています。

子どもの困りごと

こども 7 人に1人が貧困状態、ひとり親家庭の半数が貧困状態にあるというデータからも、こども食堂の成り立ちには子どもの貧困問題の深刻化、共稼ぎ世帯やひとり親家庭の増加による子どもの孤食や孤立の増加が社会的背景にあることが分かります。確かに子どもの貧困は大きな問題です。
そして、今、少子化や人口減少など国全体を変えてしまう大きな流れの中でこども家庭庁が出来ました。子ども家庭庁では「こどもまんなか社会」の実現に向けて「子ども基本法」の成立など、様々な取り組みを進めているようです。「子どもまんなか」というと、子どもだけを特別扱いするイメージを持たれる方もいらっしゃるかもしれませんが、「子どもまんなか」とは、子どもファーストではなく、子どもが今の暮らしのなかでいかに未来へ希望をもって、いきいきと成長できるかという取り組みだと私は考えています。また、先ほどひとり親家庭の半数が貧困にあるそうですが、これを聞いてすぐに納得できるかたは少ないと思います。今、ひとり親家庭は珍しいことではありません。みなさんの周りやご関係者の中にもいらっしゃると思います。その中に食べることに困っていて暮らせないご家庭を見つけることは出来るでしょうか。少し昔なら、生活が苦しいご家庭の子どもは毎日、同じ服装であったり、穴のあいた服を着ている、お風呂に入っていない等、一目で判断できました。でも今は、少し事情複雑で家庭には車もあります。子どももスマホも持っています。外見で判断することは難しいと思います。
そのような中で特に子どもたちは外見でわかる貧困よりむしろ、内面に今の社会に生きずらさを感じているのではないか思います。私はこれを「子どもの小さな困りごと」と呼んでいます。子ども食堂を始める方も孤食や貧困を嘆いて始めた方ばかりではなく、「地域のこどもの居場所として力になりたい」と思っている方が多いように思います。私は子ども食堂を立ち上げのお手伝いをさせて頂いておりますが、子ども食堂を始める方は特別なキャリアをお持ちの方ではなく、ごく普通の生活をされている方が多いと感じています。

子どもの居場所

今年、厚生労働省が発表した自殺についての調査結果があります。この表では自殺者は減少しています。長いコロナのトンネルを抜け、落ち着いてきたのでしょうか。そうではありません。自殺者数が減少しているのは大人です。逆に子どもの自殺者数は増加しています。資料によると自殺原因の分からない事案が一番多いようです。他に家庭問題、学校問題、健康の理由などが続きます。
少し身近なお話をさせて頂きます。それは、私の子育て経験か話になります。息子の友だちが中学生の時に自ら命を絶ちました。幼稚園から小学校まで一緒で時々我が家にも遊びにきてくれておりましたが、中学で別れてしまったため、息子自身はその子とは疎遠になっていました。当時、私は教育委員をしており、出来事を耳にすることとなったのです。
どうしてあの子が、、、私の中で小学生低学年のころから我が家に来て一緒にゲームをし、おやつを食べていた無邪気なこの子の命をたったのか、だれも彼を救うことができなかったのか悔やまれてなりませんでした。
後になって考えてみると、少し、思い当たる理由を見つけることができました。
彼の家は家族構成が少し複雑でした。おそらく、家庭に自分の居場所がなく、小さいころに亡くなった本当のお母さんを追いかけて逝ってしまったのだと思います。思春期を迎え、自分のモヤモヤした気持ちに気

づき、日々生きずらさを感じていたであろう彼に、あと少し、もう少しの辛抱。中学を卒業すれば、家を離れることもできるし、自分で働くことも出来る。今の嫌な環境から逃げ出すことも出来たのに。でも人生経験の少ない彼には考えが及ぶはずもありません。もちろん、彼は俗にいう、不良ではなかったと思います。私の知る、この子は勉強もできたし、時間も守れる良い子でした。多分、良い子でいることが彼にとって生き続ける条件だったのだと思います。そしてもし、私の知る彼のような状況が子どもの自殺の原因のひとつであるなら、大人なら防げた自殺だと思います。
子どもは、小さな世界で生きています。とても一途です。まだ、人生経験も少ないので、子どもならではの「深い悩み」があるのです。親の過干渉、お母さんから抜け出したい、家庭内での孤独など家庭の問題、価値観の押し付け、将来のこと、学業不振や進路の悩み。私たち大人は、これらの理由で自殺を考えることはありません。大人なら何とかなるのです。子どもたちは、自分でも気づかない、小さな困りごとをもって暮らしているのです。こんな子どもたちに、私たち大人はどんなことをしてあげられるのでしょうか。

とまり木について

昔は近所に駄菓子屋さんやもんじゃ焼きやがありました。こどもはそこにコミュニティがありました。そしてその駄菓子屋やもんじゃ焼きやには口を出さず、見守っているはキーパーソンとなる大人の目がありました。他にも例えば近所の八百屋のおじさん、道で掃除をする大人などこどもを見守る大人の目がたくさんありました。しかし、今、外に大人はいません。あまりよく知らない大人とは話をしません。こちらも知らない子どもに声をかけることもはばかられてしまいます。
こどもが関わる大人といえば、自分の家族、学校の先生、塾の先生などごく、限られています。そこで、現代版の「駄菓子屋的コミュニティ」を作りたいと考えました。それが、とまり木です。
とまり木は一本の木です。やってくる鳥は子どもたちです。鳥がどうしてこの木にやってきたのか、鳥の目的は木にはわかりません。おなかがすいて木の実を食べに来たのかもしれません。雨が降って雨宿りにきたのかもしれませんし、飛ぶことに疲れてちょうどこの木を見つけたのかもしれません。木はそこに立っていて、他の動物もいます。ここで自分以外の他人と出会い、自分との違いを感じてもらう。そんなとまり木です。
私たちとまり木は現在30名ほどの会員がいて、月に一度、「とまり木食事会」を開催しています。スタッフのほとんどが、子育て経験のある保護者です。それぞれ、子育ての中で感じてきたことをこのとまり木で生かしながら、活動しています。食事会という名称はついていますが、私たちの本当の目的は食べることではありません。ここに来て、新しい友だちを作り、地域の知らない大人と話すことで多様な価値観に気づいてほしいのです。先ほどもお話したようにどんな子どもでも「小さな困りごと」を持っているはずです。もちろんそのことに気づいていない子どもが大半です。でも、子どもがその「小さな困りごと」に気づいたとき、どんな気持ちで受け止め、誰と分かち合えたかによってその後の展開が違ってきます。私たちは親ではありません。正しい答えを伝えることより、どうやってやり過ごせるかを伝えていきたいと思っています。そのための仕掛けとして、食事や工作など準備しています。とまり木食事会の様子をスライドでご紹介します。また、とまり木全体の活動はお手元にご用意いたしました昨年度の事業報告書をご覧ください。
当日は食事の時間になると保護者や兄弟もやって来て、一緒に食事をとるご家族もいます。とまり木では食事は自分の好きなだけよそってもらいます。無理強いはしません。ご家族に交じって私たちスタッフも一緒のテーブルにつき、お替りを勧めたり、頂いた食材の話、ほかにも他愛無い話をしながら、頂きます。
たったこれだけのことです。
どうして、貧困でない子どもたちにも無料で食事を食べさせるのかとおっしゃる方もいます。が、自分の子育てを振り返っても子育て中は常に時間に追われていました。とまり木に来て、家族で揃ってそしてみんなでご飯を食べ、家に帰ったら、お風呂に入って寝るだけ。そんな日が月に一度くらいあってもいいと思いませんか。そのことでちょっと気持ちに余裕ができ、子どもの話を聞いてあげる時間が作れたらわたしたちはとても幸せです。
もうひとつ、とまり木食事会の中に目立たない活動があります。それは、食べることにお困りのご家庭への配慮です。このとまり木食事会は市内の小中学生とそのご家族を対象に実施しています。この条件を満たせばだれでも参加できますので、少し食べることにお困りのご家族もお声かけしています。おそらく参加された他のご家族のほとんどは事情に気づいていないと思いますがそのご家族には、帰りがけキッチンの裏手から使いきれなかった野菜、お菓子、お米などの食材をお渡ししています。

地域で支えるとまり木に

2016年に立ち上げたとまり木は今年の秋で10年目に入ります。私が、この活動を大勢の仲間と始めた理由は、二つあります。一つは出来るだけ持続可能なしたかったからです。長い間には自分が都合で活動を休まなくてはならないこともあります。たくさんの小さな力が集まれば、子どもに接する大人も増えます。子どもにはたくさんのおじさん、おばさんと交流してほしいと思っています。もう一つは地域に「とまり木応援団」を増やすためです。一つの団体に出来ることは限られています。地域みんなで子どもたちを見守る文化ができたらいいなと思ったからです。とまり木を運営するのは私たちですが、地域の企業さまには活動資金、それ以外にも、とまり木の活動拠点となる場所を提供してくださる企業さまや、食材を提供してくださる企業さま、荷物が多いとき運送を手伝ってくださった企業さまなど、いろいろなかたちで応援して頂いております。たくさんの皆さまに支えて頂きながら、とまり木はしっかり根を張り、枝を伸ばし、やってくる子どもたちの笑顔を増やしていきたいと思います。

桐生みどり子ども食堂ネットワークについて

もうひとつ力を入れている活動があります。それは子ども食堂同士がつながる仕組みです。
現在、桐生市、みどり市に子ども食堂は10 件ほどあります。とまり木のようにチームで活動する子ども食堂もあれば個人で活動されている子ども食堂もあります。それぞれが強い信念をもって運営しています。そして食堂のほとんどは、今日の皆さまとおなじ「慈善事業」、つまりボランティアです。
開催するだけでも大変ですが準備、食材の調達、運営費のやりくりなど様々なことを工夫しながら運営されています。そこで団体をサポートする仕組みを作りました。それが桐生みどりこども食堂ネットワークです。現在、桐生市、みどり市とその広域の 14 の団体で構成しています。こちらのリーフレットもよろしければご覧ください。桐生・みどり子ども食堂ネットワークには事務局を作り、子ども食堂への支援の窓口を一本化しました。企業さまなどから頂くたくさんの食材やご支援を受付、保管、一括管理しています。昨年、桐生4RC 合同チャリティーゴルフさまからご寄付を頂きました。ありがとうございました。賞味期限の近づいた食材を頂けることもあります。ご寄付、頂いた食材は、子ども食堂同士で分け合います。また 3 か月に一度、定期的に情報交換会を開催し、自分の活動紹介や課題について皆で情報を共有します。特に課題についてはよい事例があれば紹介し合います。子ども食堂は誰でも始められますが、これを継続することは簡単ではありません。ネットワークがあることで地域にこども食堂がたくさんあれば、それだけ子どもたちの居場所を増やすことになります。

最後に

とまり木のホームページと桐生みどりこども食堂事務局の QR を載せましたので、ご覧下さい。
子ども食堂にはいろいろな形があります。子ども食堂は貧困に向けた活動だけではありません。世の中の社会的背景を引き受け、地域の子どもの居場所としての役割も担っています。皆さまのお住まいの地域でも子どもたちが未来に「明るい夢」を持てるよう、子どもたちのキラキラを応援してください。
ご静聴頂き有難うございました。

とまり木

桐生みどり子ども食堂

@KIRYUU_MIDORI_KSN2023

本日の食事

美喜仁

✿本日のお花✿

園田杯ゴルフコンペ
伊香保国際カンツリークラブにて
6 月 8 日(日)

第 2840 地区ローターアクト
ALL 群馬チャリティープロジェクト vol.3 ボッチャ
6 月 22 日(日)桐生市総合福祉センター

桐生倶楽部清掃
6 月 28 日(土)

新年度に向けて、桐生倶楽部敷地内の草むしりを行いました。
暑い中、お疲れ様でした。
とても綺麗になりました。